

令和5年度土砂災害防止月間の取組について

1 要旨・目的

土砂災害による死者ゼロ・被害最小化のため、土砂災害防止月間（6月）において、多様な主体と連携し、より効率的かつ浸透効果の高い「避難啓発推進キャンペーン」及び「疑似体験型防災教育」を実施する。なお、これらの取組は、「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」の一環として実施するものである。

2 現状・背景

「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動」の一環として、土砂災害に対する防災意識の醸成と災害の事実を後世に伝承することを目的とした「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」を推進している。また、令和3年8月豪雨における県民の避難状況等にかかる調査において、県民の避難を充分促せていないことが明らかとなり、県民の避難行動につながる取組の推進がより一層必要となっている。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（実施内容）

ア 避難啓発推進キャンペーン

避難行動を啓発するメッセージを内容・デザインの統一されたコンテンツを用いて、短期集中的に多様なメディアやツールを通じて発信するキャンペーンを次のとおり実施する。特に、幅広い世代の利用者数の多いインターネットサイトやSNS等を用いることで、より効果的な情報発信に取り組む。

(ア) 取組期間

令和5年6月26日から令和5年6月30日

(イ) 活用する統一コンテンツ

従来から避難啓発に活用している、「呼びかけ避難」と「率先避難」の重要性を訴えるポスターを用いる。



避難行動を啓発するポスター

(ウ) 取組内容

項目	内容
テレビ・インターネット等による避難啓発に関する情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ YouTube、県の公式 SNS (Twitter、FaceBook、TikTok)、県ホームページ等において、避難啓発動画の配信等による情報発信を行う。 ○ テレビやラジオにおいて、気象予報士等が天気番組や防災特別番組において情報発信を行う。 ○ 広島産業会館等に設置されたデジタルサイネージにおいて情報発信を行う。
避難行動を啓発するポスターの掲示等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道やバス等の公共交通機関、大型ショッピングセンターやスーパー等の小売店、銀行等の金融機関、小中学校等の教育機関、国・県・市町の公的機関庁舎など、多くの県民が訪れる様々な施設へポスター約 11,000 枚を掲示する。 ○ コンビニエンスストアや大型ショッピングセンター等において、ポスターと同一デザインのチラシ約 10,000 枚を配架する。

イ 疑似体験型防災教育

国（中国地方整備局）と連携し、県内で発生した土砂災害の被災地近傍の小学校において、土砂災害対策施設の現場見学や、土砂災害リスクを可視化するVR・ARの技術を活用した疑似体験学習と座学を組み合わせた出前講座を次のとおり開催する。

場所	海田町立海田南小学校（安芸郡海田町大立町）
対象	小学4年生（約100名）
日時	令和5年6月27日（火）9時30分～12時25分
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂災害について学ぶ砂防講座 ○ VR・ARの技術を活用した疑似体験学習 ○ 土石流模型実験の実演 ○ 平成30年7月豪雨災害に伴い整備した砂防堰堤と急傾斜地崩壊防止施設（法枠工）の現場見学 <p>【見学場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南幸川砂防堰堤（広島市安芸区矢野町） ・南幸町13地区急傾斜地崩壊防止施設（海田町南幸町）



砂防堰堤の現場見学



VR機を用いた体験学習



AR技術による土砂災害リスクの可視化「キキミルAR」

(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

約 8,000 千円

4 その他（関連情報等）

「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」ホームページ

<https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/densyou/index.html>